

市町村担当者円卓会議（第2回）

「災害公営住宅におけるコミュニティ支援の現状と課題」を開催しました

災害公営住宅等住宅インフラの整備が一定程度進み、新しい環境に移った住民のコミュニティ形成が課題となってきたことから、各市町における取組状況や課題について情報交換を行い、よりよい支援のあり方について考えるきっかけとするため、市町村担当者円卓会議（第2回）「災害公営住宅におけるコミュニティ支援の現状と課題」を平成28年6月3日午後、東松島市コミュニティセンターにて開催しました。

事例報告 ～災害公営住宅等でのコミュニティ立ち上げ支援の現状～

4市1町（気仙沼市、多賀城市、南三陸町、仙台市（太白区）、石巻市）の各ご担当者から、それぞれの市町での災害公営住宅でのコミュニティ形成の状況と、その立ち上げ支援の方法や課題についてご報告いただきました。

加えて、コメンテーターとしてお招きした公益財団法人トヨタ財団の本多史朗さん、宮城県サポートセンター支援事務所の鈴木守幸さん、真壁さおりさんから、各市町の取り組みについて、以下のコメントをいただきました。

- ・個々の住民への個別支援に加えて、地域支援の視点からLSA等の配置を進めることも必要である。
- ・規模の大きい災害公営住宅や、住民があちこちから集まって入居する災害公営住宅が今後大変になる。住民自治会ばかりに負荷がかからないよう、住民の自主活動等、多様な主体による活動を促進して欲しい。



意見交換 ～災害公営住宅等のコミュニティ立ち上げ支援の課題～

事例報告を受け、参加者間で以下の3テーマについて意見交換を行いました。前半、事例報告をいただかなかった自治体からも取組内容や課題を共有いただきながら、それぞれの枠組みの相違点・共通点を比較検討しながら議論を行いました。

論点① 災害公営住宅等の自治会（自治組織）について

- ・災害公営住宅単独の自治会をつくる団地と、周辺の既存自治会に編入をお願いする団地と両方ある。団地の規模の大小や、編入可能な自治会があるかどうか等の条件がある。
- ・周辺の自治会に編入する団地でも、共益費等災害公営住宅内のことを扱うために、団地会のような組織を作ることもある。
- ・入居の事前説明会から、編入先の行政区長等に参加してもらい、彼らのリーダーシップでまとめてもらうようにしている。



- ・財産を持っている地縁団体の中には、災害公営住宅の編入を断られる所もあった。逆に被災前の自治会への加入を続け、災害公営住宅の自治会には加入されない方もいる。
- ・災害公営住宅自治会の捉え方が、自治体によりずいぶん違いがある。管理組合的な役割が強い所と、交流等の自治機能も担う所と両方ある。

論点② 自治体としてのコミュニティへの関わり方

- ・災害公営住宅の入居者には、自分たちのことは自分でできるような自治的なコミュニティを作って欲しい。
- ・自治会には地区の植栽の管理をお願いする予定。草刈りや手入れをしていただくことで、自然とお茶を飲む等コミュニティが生まれていくと考えている。
- ・事前に顔合わせ等、住民同士が仲良くなる機会を作った上で、自治会づくりに進む流れが支援としてはよいと思う。
- ・自治体としては、自治会の組織の案やたたき台は作成するが、自治会づくりの主導権はあくまで住民にあると考えている。
- ・復興支援員に、災害公営住宅と周辺の自治会との橋渡しの役割を担っていただくことができた。双方の不安解消に大きな効果があった。

論点③ 福祉的な視点からのアプローチ

- ・行政の福祉部門だと、個々の支援はたくさんできるが、自治会に対してはあまり力が発揮されない。一方、建物の管理部門だと自治会からの要望も多く関係が強いが、個々の住民との関係は薄い。両者が連携していく必要があると思う。

コメンテーターの皆さんからは、

- ・現場で動いている支援員が持っている生の情報を活かして施策を展開して欲しい。
- ・自治会という組織を作ることが至上命題になってしまうこともあるが、住民のニーズを集約できる力を持たせることが重要。このような住民力の涵養のため、自治体の果たす役割は大きい。
- ・自治会側も自治体がなんでもできる時代ではないので、住民どうしで支え合っていく覚悟が必要。
- ・自治会の組織やその周辺（婦人会、サークル等）で女性の果たす役割は重要である。
- ・震災後に地域で支援の経験を積んだ人材の活用を検討して欲しい。

といったご意見をいただきました。



当日は市町担当者等 27 名にご参加いただきました。今後も、時期に沿ったテーマを設定し、このような場を設けてまいります。詳細は以下の担当までお問い合わせください。

<開催事務局>

- | | | |
|-----------------------|--------|------------------------|
| 一般社団法人みやぎ連携復興センター | 担当：石塚 | ishizuka@renpuku.org |
| 一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム | 担当：高田 | info@tohokuconso.org |
| 一般社団法人復興みなさん会 | (事務局宛) | minasan.msrb@gmail.com |